

城谷謙纂輯

教育學
管理法
教授法
問題集
全

版權所有

博文堂
林堂合梓
博雅堂

教育學
問題集

城谷謙纂輯

教育學之部

- 第一 教育トハ如何ナルヲ云フヤ
- 第二 教育ノ範圍ハ如何
- 第三 普通教育ノ目的ハ如何
- 第四 完全ノ人トハ如何ナル人ヲ云フヤ
- 第五 德育ノ目的ヲ詳述セヨ
- 第六 智育ノ目的ヲ詳述セヨ
- 第七 体育ノ目的ヲ詳述セヨ

教育學部
問題集

城谷 謙 纂輯

教育學之部

- 第一 教育トハ如何ナルヲ云フヤ
- 第二 教育ノ範圍ハ如何
- 第三 普通教育ノ目的ハ如何
- 第四 完全ノ人トハ如何ナル人ヲ云フヤ
- 第五 德育ノ目的ヲ詳述セヨ
- 第六 智育ノ目的ヲ詳述セヨ
- 第七 体育ノ目的ヲ詳述セヨ

第八 教育ト教授トノ別如何

第九 教育ハ教授ヲ含有スト云フ其理由如何

第十 教育ハ啓發ヲ含有スト云フ其理由如何

第十一 視官ヲ教養スルノ方法如何

第十二 聽官ヲ教養スルノ方法如何

第十三 觸官ヲ教養スルノ方法如何

第十四 嗅官ヲ教養スルノ方法如何

第十五 味官ヲ教養スルノ方法如何

第十六 教育ノ施方ニ表裏ノ二面アリト云フ

如何ナルモノゾ

第十七 客觀的ノ智識ニハ延長ノ念アリト云

フ其理由ヲ証明セヨ

第十八 主觀的ノ智識ニハ延長ノ念ナシト云

フ其理由ヲ証明セヨ

第十九 觀念トハ如何ナルモノゾ例ヲ擧テ之

ヲ示セ

第二十 沈黙ノ感勢トハ如何

第二十一 論理法ノ教授ニ必要ナル所以ヲ問フ

第二十二 表現力教育上ノ價值如何

第二十三 記性ノ種類及其教養ノ法ヲ問フ

第廿四 想像ノ種類ヲ舉ケヨ

第廿五 美術上ノ想像トハ如何ナルモノソ

第廿六 理學上ノ想像トハ如何ナルモノソ

第廿七 讀書上ノ想像トハ如何ナルモノソ

第廿八 感觸ハ心地ノ根柢ナリト云フ其理由

如何

第廿九 感觸ハ其性質ノ如何ニ因テ生殺スヘ

シト云フ其理由如何

第三十 想像力養成ノ方法如何

第卅一 想像力教育上ノ價值如何

第卅二 教育上内外ノ作用トハ如何

第卅三 教育者ハ自己ノ像ヲ兒童ニ印スト云

フ其理由如何

第卅四 智識ヲ得セシムルノ方法如何

第卅五 論辯力ノ教育ニ要用ナル所以如何

第卅六 諸觀念若クハ諸思想ヲ心意ニ連結一

致セシムルニハ温習ヲ以テ必要ナリ

トスト云フ其理由如何

第卅七 人々愛國ノ情ヲ生スルノ原因如何

第卅八 愛國ノ情ヲ養成スルノ要及其方法如

何

第卅九 比較分類ノ心力ヲ養成スルノ方法如

何

第四十 觀念ヲ附與スルハ宜ク言辞ニ先ツヘ

シト云フ其理由如何

第四十一 憂鬱ノ教育上ニ害アル所以ヲ擧ケヨ

第四十二 美妙ノ情緒ヲ養成スルノ方法及其要

ヲ詳述セヨ

第四十三 學校ニ於テ友愛ノ情ヲ養フノ方法及

其要ヲ詳述セヨ

第四十四 競進ノ利害ヲ明示セヨ

第四十五 教師ノ一言一句ヲ出ス毎ニ生徒ノ感

覺ヲ振起シ光輝温暖ヲ生スルガ如キ

ニ至ラシムルニハ如何ナル手段ヲ用

キルヤ

第四十六 教師ニシテ屢罰ヲ施ス者ハ其位置ニ

適セスト云ヘリ此理由ヲ証明セヨ

第四十七 俊秀ノ教師ハ帝ニ前習スルノミナラ

ス又能ク後習スト云ヘリ後習トハ何

ソ

第四十八 生徒ノ心性行為ヲ正スニ於テ命令若クハ訓戒ニ勝ル者アリト如何ナルモノソ

第四十九 德育ノ例譬ハ取捨撰擢ヲ慎ムヘシト云ヘリ古今諸實例ヲ記載シテ之ヲ解説セヨ

第五十 幼稚ノ教育ハ首トシテ感覺ヲ培養スヘシト云ヘリ其方法及理由ヲ問フ

第五十一 感觸ヲ激發スルノ利害ヲ詳論セヨ

第五十二 何故ニ模範ハ命令若クハ訓誨ニ勝ル

ノカアルヤ

第五十三 休憩時間ノ必要及ヒ其長短ノ程度如何并ニ其理由ヲ問フ

第五十四 恐嚇ノ害ヲ細述セヨ

第五十五 内外ノ働トハ如何

第五十六 徳性ト心智トノ修練間ノ連絡ニ關シテ其要旨ヲ述ヘヨ

第五十七 幼時ノ印象ハ如何ナル効力ヲ有スルヤ并ニ其理由ヲ詳述セヨ

第五十八 児童ノ協力ハ如何ナル効用アルヤ又

之ヲ得ルノ方法ハ如何

第五十九 兒童ニ負ハシムル課業ハ屢變換ヲ要
スト云ヘリ仔細ニ其理由ヲ陳ヘヨ

第六十 學校内ニ於テ兒童ノ健康ヲ動カス所
ノ諸情狀ヲ舉ケヨ

第六十一 學校ノ位置ハ爽快廣濶ニシテ殊ニ風
致ノ人心ヲ感スヘキ処ヲ撰メト云フ

此理由如何

第六十二 通風ノ必要ヲ詳述セヨ

第六十三 若採光法ノ甚不充分ナル學校ニ會セ

ハ何等ノ理由ヲ述ヘテ其備ヲ學務委
員ニ議スルヤ

第六十四 体操場ノ効用ヲ綿密ニ述ヘヨ

第六十五 幼稚ノ德育ハ如何ナル方法ニ由ルヤ
宜其理由ヲ述ヘヨ

第六十六 兒童ヲシテ大小形狀諸色時間空間距
離等ノ概念及觀念ヲ得セシムルニハ
如何ナル手段ニ藉ルヤ

第六十七 或人充分ニ師範學科ヲ卒ヘテ其學校
ニ赴任シ數週ヲ出テスシテ其身ヲ學

校ノ上ニ置ク一能ハサルニ至リシト云フ其或ハ然ルヘキ失敗ノ諸原因ヲ舉ケヨ

第六十八 善良ナル規律ハ教師ノ保有セル品位ニアリト云フ其理由如何

第六十九 威重ノ規律ニ必要ナル所以ヲ詳説セヨ

第七十 児童ニ罰ヲ課スルニ當リテハ唯ニ其違犯事件ノ輕重ニノミ因ルヘカラス他ニ熟察スヘキ者アリト云ヘリ此理

由ヲ仔細ニ解説セヨ

第七十一 児童ノ共感ヲ救得スルノ方法如何

第七十二 感觸ノ効用ヲ詳述セヨ

第七十三 邦内普通ノ小學校授業時間ハ午前九時ヨリ十二時ニ至リ復午後一時ヨリ三時迄トス貧困及僻地ノ小村各處ニ散在セル學区内ニ於テハ如何ナル他ノ整頓ヲ便宜トスルヤ其理由及方法ヲ詳述セヨ

第七十四 小學校ノ目的ヲ詳述セヨ

第七十五 既知ヨリ未知ニ進ミ簡ヨリ繁ニ進ム

ハ教育上最緊要ナルモノナリト云ヘ
リ此理由ヲ詳述セヨ

第七十六 某ノ學科ヲ教授スルニ當リ其初段ニ
於テ既ニ倦厭ノ意ヲ生セシムルモノ
アリ其然ルヘキ所以ノ理由ヲ明解セ
ヨ

第七十七 習得ノ知覺トハ如何ナルモノゾ
第七十八 最強大ナル感化力ヲ有スルモノハ如
何ナルモノゾ且其理由ヲ述ヘヨ

第七十九 生徒ニ脩身書ヲ授クルノ前先ツ之ヲ
シテ規矩ニ従ハシメサルヘカラスト
云フ其理由如何

第八十 快樂ノ諸情ハ化シテ活潑有為ノ習慣
トナルト云フ其理由ヲ証明セヨ

第八十一 習慣ト時間トノ關係如何

第八十二 食物ニハ四類ヲ調和スヘシト云フ四
類トハ何ゾ且其理由ヲ明示セヨ

第八十三 單一食物ノ利害ヲ舉ケヨ

第八十四 衣服ノ用品ニ要スヘキ性質及其種類

ヲ舉ケヨ

第八十五 著服其法ヲ得サルヨリ身体温度ノ不平均ヲ生スルノ理由及其害アル所以ヲ明示セヨ

第八十六 空氣ハ二用ヲ兼備スト云フ二用トハ如何ナルモノゾ

第八十七 跳躍奔走ノ利害ヲ舉ケヨ

第八十八 角力及水泳ノ利害ヲ舉ケヨ

第八十九 運動ノ利益ヲ舉ケヨ

第九十 休憩及睡眠ノ必要ヲ説ケ

第九十一 休憩ノ法ニアリニトハ如何ナルモノゾ

第九十二 善良ノ問答家ハ亦善良ノ教師ナリト云フ其理由如何

第九十三 兒童概想ノ強弱ハ何ニ源因スルヤ

第九十四 人性ノ諸能力ヲ發育スルハ天然ノ順序ニ從フヘシト云フ其理由如何

第九十五 賞美心ノ効用及之ヲ培養スルノ方法ヲ詳述セヨ

第九十六 圖画ノ練習ハ想像力及風致ノ心情ヲ

養成スルノ益アリト其所以ヲ詳細ニ述ヘヨ

第九十七 圖畫ノ練習ハ視察力ヲ敏ニシ綿密ノ性ヲ養成スルノ益アリト云フ其然ルヘキ所以ノ理由ヲ陳ヘヨ

第九十八 脩身學ヲ授クルルキノ準備如何且其準備ノ必要ヲ説ケ

第九十九 教授中奇談新話ヲ以テ兒童ヲ慰ムルハ善良ノ教育法ニ背クト云フ其理由ヲ詳細ニ解説セヨ

第一百 欠絶ナキノ進歩ハ概想ニ易キ誘引ト相接近スト云フ其理由ヲ明示セヨ

第一百一 体育ハ遠路ノ歩行或ハ耕耘ノミヲ以テ其目的ヲ達シ得ルヤ否其理由ヲ詳細ニ示セ

第一百二 生徒ノ趣味心ヲ開發スルノ要及其方法ヲ仔細ニ陳ヘヨ

第一百三 書籍ハ生徒ニ智識ヲ附與スルノ媒介物ナリト云フ例ヲ舉ケテ其理由ヲ詳細セヨ

第百四 信ハ信ヲ招キ愛ハ愛ヲ迎フト云フ其

理由如何

第百五 知識ヲ得ント欲スルハ人ノ天性ナリ

ト云フ例ヲ舉ケテ之ヲ示セ

第百六 志望ヲ高尚ニ養成スルノ必要及其方

法ヲ説ケ

第百七 必實効ヲ奏セントスルノ心情ヲ養成

スルノ方法及其必要ヲ説ケ

第百八 生徒ノ過失ヲ嘲譏スルノ利害ヲ詳述セヨ

第百九 児童學習ノ心情ヲ鼓動スルニ適當ナ

ル諸件ヲ舉ケヨ

第百十 難事ニ克ツノ快樂ヲ感セシムルノ必

要及其方法ヲ詳述セヨ

第百十一 好奇心ヲ利用スルノ方法ヲ陳ヘヨ

第百十二 人生ノ幸福中其最大ナルモノヲ舉ケヨ

第百十三 教師ハ常ニ一人ヲ教授スルノ意ヲ以

テスヘカラス必全級生徒ヲ教授スル

ノ意ヲ以テスヘシト云フ其理由如何

第百十四 規定ノ運動ノ効用ヲ説ケ

第百十五 自由運動(即規定ナキ運動)ノ効用ヲ詳

細ニ説ケ

第百十六 規定ノ運動ト自由運動トノ別及其各異ノ利益ヲ舉ケヨ

第百十七 原始ノ知識(經驗上)ヲ得ルノ方法ヲ詳

細ニ陳述セヨ

第百十八 稽古ノ知識(學問上)ノ知識ヲ得ルノ方

法ヲ詳細ニ述ヘヨ

第百十九 復習ノ目的ヲ詳述セヨ

第百廿 復習ノ要件ヲ詳述セヨ

第百廿一 復習ノ方法ヲ詳述セヨ

第百廿二 復習ノ設備ヲ詳述セヨ

第百廿三 教師ハ生徒ノ權利ヲ維持シ又生徒ヲ

シテ義務ヲ行ハシメサルヘカラスト

云フ其理由如何

第百廿四 兒童ニハ國ニ對スルノ義務ヲ熟知セ

シメ且之ヲ實行セントスルノ念ヲ起

サシメサルヘカラスト云フ其教授ノ

方法及其理由ヲ詳述セヨ

第百廿五 生徒ニハ教師或ハ學校ノ褒賞ヨリハ

自然ノ賞ノ貴重ナル所以ヲ知ラシム

へシト云フ其理由ヲ詳述セヨ

第百廿六 教師ノ職務ノ特ニ貴重ナル所以ノ理由ヲ詳示セヨ

第百廿七 教師タルニ適當ノ身体トハ如何

第百廿八 教師タルニ適當ノ品行トハ如何

第百廿九 教師タルニ適當ノ智識トハ如何

第百三十 教育ハ不幸ノ原因ヲ除去スト云フ其

所以ヲ説ケ

第百卅一 讀方教授ノ要旨如何

第百卅二 作文教授ノ要旨ヲ詳述セヨ

第百卅三 筆算教授ノ要旨ヲ詳述セヨ

第百卅四 珠算教授ノ要旨ヲ詳述セヨ

第百卅五 地理學教授ノ要旨ヲ詳述セヨ

第百卅六 歴史教授ノ要旨ヲ詳述セヨ

第百卅七 物理學教授ノ要旨ヲ詳述セヨ

第百卅八 幾何學教授ノ要旨ヲ詳述セヨ

第百卅九 化學教授ノ要旨ヲ詳述セヨ

第百四十 經濟學教授ノ要旨ヲ詳述セヨ

第百四十一 博物學教授ノ要旨ヲ詳述セヨ

第百四十二 家事經濟教授ノ要旨ヲ詳述セヨ

- 第四百三 農學ヲ教授スルノ要旨ヲ詳述セヨ
- 第四百四 商業學ヲ教授スルノ要旨ヲ詳述セヨ
- 第四百五 工業學教授ノ要旨ヲ詳述セヨ
- 第四百六 記簿法教授ノ要旨ヲ詳述セヨ
- 第四百七 生理學教授ノ要旨ヲ詳述セヨ
- 第四百八 作法教授ノ目的ヲ詳述セヨ
- 第四百九 脩身格言教授ノ目的ヲ詳述セヨ
- 第五百十 赴任ノ地農工商三民雜居ノ區ナル片ハ如何ナル目的ニ因テ兒童ヲ教授スルヤ又此三科ヲ教授スルノ方法如何

管理法之部

- 第一 管理ノ要旨如何
- 第二 管理ノ目的如何
- 第三 管理ノ方法如何
- 第四 生徒ノ信用ヲ得ルノ手段如何
- 第五 父兄ノ信用ヲ得ルノ方法如何
- 第六 監督ノ要旨ヲ仔細ニ陳ヘヨ
- 第七 編級ノ利益ヲ詳細ニ陳ヘヨ
- 第八 單樣編級(單分法)ノ方法及其利害ヲ詳述

七ヨ

第九 複様編級(複分法)ノ方法ヲ述ヘ併テ其

利害ヲ詳述セヨ

第十 單様編級ト複様編級トノ別ヲ説キ并ニ

其利益ノ最大ナルモノハ何レナルヤヲ

示セ

第十一 編制ト教授トハ親密ナル關係ヲ有ス

ト云フ其理由ヲ詳述セヨ

第十二 編制ト躰方トハ緊要ナル關係ヲ有ス

ト云フ其理由如何

第十三 教化ノ源ハ教師ノ性質ニ存スト云フ

其理由ヲ詳述セヨ

第十四 善良ノ編制ハ教化ヲ上進スルモノナ

リト云フ其理由如何

第十五 教師ニ必要ナル常習ハ如何

第十六 教師ハ如何ナル精神ヲ有スヘキヤ

第十七 善良ノ管理ハ善良ノ教授ニ勝ルトト

フ其理由如何

第十八 學校ニシテ校戒ナキハ水車ニシテ水

ナキカ如シト云フ其理由如何

第十九 多數ノ共感ハ教化ヲ上進スルヲ得

ルニ足レリト云フ其理由如何

第二十 時間表ヲ製スルノ方法如何

第廿一 時間表ノ利益ヲ舉ケヨ

第廿二 児童就業時間ノ長短ノ程度ヲ示セ

第廿三 助教ナキ學校ノ編制ノ得失ヲ舉ケヨ

第廿四 教員及助教員ヨリ組織セル學校ノ編

制ノ得失ヲ舉ケヨ(校中ノ主長ヲ教員

ト称シ其他ヲ總テ助教員ト称スルナ

リ)

第廿五 助教ナキ學校ノ編制ノ得失ヲ舉ケヨ

第廿六 教員及授業生ヨリ組織セル學校ノ編

制ノ得失如何

第廿七 採光及通風法ノ能ク其法ニ適ヘル教

場ノ圖面ヲ製セヨ

第廿八 男女二百五十人ヲ教授スヘキ學校ノ

圖面ヲ製セヨ

第廿九 児童一人毎ニ與フヘキ面積及立方積

各幾何且三十人ヲ容ルヘキ教室ノ長

幅及高サヲ問

第三十 試験ノ要ニ三段アリト云フ三段トハ

何ソ詳細ニ述ヘヨ

第卅一 競進及賞品ノ利害ヲ論セヨ

第卅二 教師ノ力量ハ常ニ授罰ノ度数ニ轉比

例スト云フ其理由如何

第卅三 競争心ヲ利用スルノ方法如何

第卅四 譴責ヲ行フノ方法ヲ詳述セヨ

第卅五 教場ノ静肅ヲ保ツノ方法如何

第卅六 校内ニ遊歩場ヲ設クルノ必要ヲ説ケ

第卅七 新鮮ノ空氣ヲ教場ニ流通セシムルノ

必要ナル所以ヲ説ケ

第卅八 學校表簿ノ功用ヲ詳述セヨ

第卅九 校僕ヲ十令ニ使用スル能ハサル學校

ニ於テ校内ヲ清潔ニ保ツニハ如何ナル

方法ヲ用ヰルヤ

第四十 農業地方ノ小學校ニ備フヘキ必要ノ

廢物ヲ舉ケヨ

第四十一 商業地方ノ小學校ニ備フヘキ必要ノ

廢物ヲ列記セヨ

第四十二 工業地方ノ小學校ニ備フヘキ必要ノ

廢物ヲ列記セヨ

第四十三 完備ノ學校ニハ何等ノ場所ヲ有ツヘ

キヤ

第四十四 教師ノ初メテ校ニ來ルキハ變革ヲ慎ムヘシト云フ其所以如何

第四十五 校内ノ清潔整齊ヲ保ンニハ教場外ニ如何ナルモノヲ備フヘキヤ

第四十六 地方職業上ノ情況ニ就キ教科上斟酌スヘキモノアリヤ若アラハ其理由ト其方法等ヲ精細ニ述ヘヨ

第四十七 學校ニ必須ノ器具ヲ問フ

第四十八 兒童ノ快活ヲ擁護シ又其視覺ヲ害スルヲ避ケンニハ如何ニ教場ノ牆戸ヲ整頓スヘキヤ

第四十九 教師ノ不足ヲ補フノ方法ヲ詳述セヨ

第五十 校外ニ於テノ生徒ノ行為ニ就キテ其責任ヲ負フヤ否并其理由ヲ明示セヨ

第五十一 校外ニ於ケル生徒ノ行為ニ於テモ教師ハ其責任ヲ免ル、一能ハサルモノナリ然ラハ之カ良全ヲ保ツノ方法如何

第五十二 教師生徒ト共ニ可及的最良ノ光線ヲ
得ニニハ牖戸ニ関シテ如何ニ卓子ヲ
整頓スヘキヤ

第五十三 罰ヲ施スニハ如何ナル時ニ於テスル
カ且其理由ヲ陳ヘヨ

第五十四 熟練ノ教師ハ歩未其教場ニ至ラズシ
テ先ツ其校教師生徒ノ品性ヲ知ルト
云フ其理由如何

第五十五 教師ノ住屋ハ校内ニ在ルヲ良トス其
理由ヲ詳述セヨ

第五十六 教師校ニ在リテハ瞬時ト雖氏空手ニ
存在スヘカラス又職務外ノ業ニ就ク
ヘカラスト云フ其理由如何

第五十七 教場ハ静肅ナラサルヘカラス然氏活
潑ナルハ児童ノ天性ナリ故ニ固ク児
童ヲ一処ニ縛シテ久シキニ堪エシム
ルヲ猶木石ノ如クナラシメント欲ス
ルハ児童ノ本性ヲ害スルモノナリ然
ラハ之ニ処スルノ方法如何

第五十八 謹戒責罰ノ施行ハ決テ所屬教員ニ委

任スヘカラスト云フ其理由如何

第五十九 児童ヲシテ學校ヲ以テ快樂ノ地ト認

ムルノ情操ヲ發起セシメサルヘカラ

スト云フ其理由ヲ陳ヘヨ

第六十 生徒昇降所狹隘ナルモ多數ノ生徒ヲ

シテ静肅ニ之ヲ昇降セシメントスル

ニハ如何ナル方法ヲ用ヰルヤ

第六十一 児童ニ負ハシムヘキ情款ハ教化ヲ動

カスモノナリト云フ其所以ヲ述ヘヨ

第六十二 或人師範學科ヲ充令ニ卒エテ某學校

ニ赴任シ數週ヲ出テスシテ其身ヲ學

校ノ上ニ置クヲ能ハサルニ至リシト

云フ其或ハ然ルヘキ諸原因ヲ載セヨ

第六十三 児童ニ清潔整齊ノ習慣ヲ得セシメン

ニハ如何ナル手段ヲ用ヰルヤ

第六十四 生徒身体ノ健康ヲ保全シ其強壯ヲ增

進スルニ足ルヘキ各種ノ情況ヲ舉ケ

ヨ

第六十五 教師ノ注目能ク生徒ノ過惡ヲ防クト

云フ其理由ヲ詳述セヨ

第六十六 教授中ノ言語ハ特ニ注意セサルヘカ
ラスト云フ其理由如何

第六十七 教授ノ妨碍ヲ制センカ為メニ教師ハ
授業ノ未始ラサルニ當リ注意スヘキ
諸条ヲ舉ケヨ

第六十八 讀書ノ時生徒ノ身体ニ就キ注意スヘ
諸条如何

第六十九 習字ノ時生徒ノ身体ニ就キ注意スヘ
諸条如何

第七十 心算ノ時生徒ノ身体ニ就キ注意スヘ
諸条如何

第七十一 學校ヲ管理スルニハ其地方人民ノ希
望スル処ヲ知ラサルヘカラスト云フ
其理由ヲ詳細ニ述ヘヨ

第七十二 學校ヲ建設スルノ地ハ如何ナル場所
ヲ撰ムヘキヤ其位置ノ情况并ニ其理
由ヲ詳述セヨ

第七十三 生徒ノ入學ヲ許可スル時ニ視察尋問
スヘキ諸條ヲ舉ケヨ

第七十四 生徒ヲ懲戒スルニ公戒ト私戒ト何レカ

有効ナルヤ且其理由ヲ詳言セヨ

第七十五 校内ノ諸器具ヲ恰好ニ整列スルノ生徒ニ裨益アル所以ヲ擧ケヨ

教師ニシテ生徒ノ遊戯ヲ監督セサル者ハ其要務中ノ一部分ヲ欠クモノナリト云フ其理由ヲ詳言セヨ

第七十六 授業時間中生徒各自ノ交通ヲ嚴禁スヘキノ理由ヲ陳ヘヨ

第七十七 競争心ノ利害ヲ詳細ニ述ヘヨ

第七十八 幼年生徒ニ脩身科ヲ授クルニ唯ニ談話ノミヲ以テ事物ノ理ヲ悟ラシムル

「甚難ニ然ラハ如何ナルモノヲ用キテ授業スヘキヤ

第七十九 遊戯場ニ在リテハ教師其職務上ノ威權ヲ示サハルヲ良トスト云フ其理由ヲ詳述セヨ

第八十 學校ノ諸整頓ヲ循律スルニ基因スヘキ一般ノ理法如何

第八十二 編級ノ基礎トスル所以ノモノヲ詳述セヨ

第八十三 編級ハ單ニ理論ニ據リ難シト云フ其
所以ヲ詳述セヨ

第八十四 學校事業ノ混乱ヲ預防スルノ方法及
混乱ノ原因ヲ舉ケヨ

第八十五 教師ハ生徒ノ過失ヲ責罰スル時ニ際
スルモ決テ侮慢ノ語ヲ發スヘカラス
ト云フ其理由ヲ詳述セヨ

第八十六 生徒ノ教師ニ不敬ナルハ教師ノ罪ナ
リト云フ其理由ヲ示セ

第八十七 生徒ニハ過惡ヲナセバ自然ノ罰ヲ受
クヘキモノナルヲ熟知セシムヘシ
ト云フ其理由如何

第八十八 鄙野ノ容儀ヲ改良スルノ手段如何

第八十九 陋惡ノ習慣ヲ改良スルノ手段如何

第九十 日用廢物ヲ學校ニ備フルノ必要ナル
所以ヲ陳ヘヨ

第九十一 地理ヲ教授スルニ必要ナル器具ヲ列
記セヨ

第九十二 幾何學教授ニ必要ナル諸器具ヲ列記
シ并ニ其使用法ヲ説明セヨ

第九十三 圖画ヲ教授スルニ必要ナル諸器具ヲ
列記シ并ニ其使用法ヲ明示セヨ

第九十四 裁縫教師ヲ雇フ能ハサル學校ニ於
テハ裁縫科ハ如何ニ処スヘキヤ

第九十五 教場ノ光線ハ何レヨリ採ルヲ良トス
ルカ并ニ其理由ヲ明示セヨ

第九十六 罰課事業ノ利害并ニ其使用方法ヲ詳
細ニ述ヘヨ

第九十七 体罰ノ利害ヲ明細ニ陳述セヨ
第九十八 懲罰ノ輕重ハ犯罪者ノ性質ト其意向

トニ管シ如何ナル児童タルヲ問ハス
皆同一ニ之ヲ處置スルカ之ヲ処スル
ノ方法ト其理由トヲ詳述セヨ

第九十九 僻地ノ父兄小學校ノ習字科時間ノ僅
少ナルカ為メニ入學ヲ嫌フ者アリ規
定ノ教則ヲ變スルヲナクシテ此ノ如
キ者ヲシテ喜ヒテ入學セシムルノ方
法如何

第一百 教師ハ穎敏ナル立法者タラサルヘカ
ラスト云フ其理由如何

第百一 教師ハ正直ナル裁判者タラサルヘカ

ラスト云フ其理由如何

第百二 教師ハ捷速ナル行法者タラサルヘカ

ラスト云フ其理由如何

第百三 教師ハ黽勉ナル勞動者タラサルヘカ

ラスト云フ其理由如何

第百四 教師ハ適當ナル首長タラサルヘカラ

ラスト云フ其理由如何

第百五 教師ハ爽快ナル夥伴タラサルヘカラ

ラスト云フ其理由如何

第百六 教師ハ懇親ナル朋友タラサルヘカラ

ラスト云フ其理由如何

第百七 教師ハ宜ク時々他ノ學校ヲ訪問スヘ

シト云フ其理由如何

第百八 生理學教授ノ要旨如何

第百九 農學教授ノ要旨如何

第百十 商學教授ノ要旨如何

第百十一 脩身格言ヲ教授スルノ要旨如何

第百十二 作法教授ノ要旨如何

教授法ノ部

第一 教授術トハ如何ナルモノヲ云フカ

第二 教授ニハ総合分解ノ二法ハ常ニ兼用ス

ヘシト云フ二法ノ性質及其適用ノ一二

例ヲ舉ケヨ

第三 教授ノ種類ヲ舉ケヨ

第四 學科ヲ教授スルニハ論理ノ法ニ從テ

之ヲ整理スヘシト云フ其理由如何

第五 脩身口授ノ方法如何

第六 脩身ノ格言ヲ授クルノ方法如何

第七 脩身書ヲ教授スルノ方法ヲ詳述セヨ

第八 最勢力アル脩身ノ教授法ヲ舉ケヨ

第九 作法ヲ教授スルノ方法如何

第十 いろは五十音ノ讀方ヲ授クルノ方法ヲ

詳述セヨ

第十一 濁音及次清音ヲ授クルノ方法如何

第十二 單語ヲ授クルノ方法如何

第十三 短句ヲ授クルノ方法如何

第十四 書取ノ順序方法如何

第十五 書取課ノ時生徒相互ノ窺偷ノ弊ヲ防

クノ方法ヲ詳述セヨ

第十六 初メテ讀本ヲ教授スルノ順序方法ヲ

詳細ニ陳述セヨ

第十七 單語單句ヲ綴ラシムルノ方法ヲ詳細

ニ陳述セヨ

第十八 中等科以上ノ讀本ノ教授方法如何

第十九 始メテ口上書類ヲ教授スルノ順序方

法如何

第二十 假名交リ文最初ノ教授方法ヲ詳述セ

ヨ

第廿一 初メテ書讀文ヲ授クルノ順序方法ヲ

詳細ニ述ヘヨ

第廿二 漢字交リノ文ヲ綴ラシムルノ順序方

法如何

第廿三 今郊行ト云フ題ニテ生徒ヲシテ十分

ニ其力ヲ用弁シメント欲セハ如何ナ

ル方法ヲ用弁ルヤ

第廿四 習字ヲ教授スルノ順序方法ヲ詳細ニ

陳述セヨ

第廿五 習字課教授ノ時注意スヘキ諸件ヲ問

フ

第廿六 實物ノ計算ヲ教授スルノ方法如何

第廿七 實物ノ加減ヲ授クルノ方法ヲ例ヲ舉

グテ之ヲ示セ

第廿八 實物ノ乗除ヲ教授スルノ方法ヲ例ヲ

舉グテ之ヲ示セ

第廿九 數字及算用數字ヲ教授スルノ順序方

法ヲ明示セヨ

第三十 命位ヲ教授スルノ方法ヲ詳述セヨ

第卅一 始メテ數字ヲ用弁テ加法ヲ教授スル

ノ方法ヲ詳説セヨ

第卅二 九九ヲ教授スルノ方法ヲ説ク

第卅三 算術ノ式題及問題ヲ教授スルノ方法

ヲ詳説セヨ

第卅四 度量衡貨幣ノ名義ヲ教授スルノ順序

方法ヲ明示セヨ

第卅五 珠算ノ運用ヲ教授スルノ方法ヲ明示

セヨ

第卅六 珠算ノ加減ヲ教授スルノ方法如何例

ヲ舉ケテ之ヲ示セ

第卅七 珠算ノ乗除ヲ教授スルノ方法如何例

ヲ舉ケテ之ヲ示セ

第卅八 算題ヲ撰フノ心得如何

第卅九 算術ノ口授題ノ必要ヲ説ク

第四十 地圖ト實地トノ觀念ヲ結合セシムル

ノ方法如何

第四十一 學校近傍ノ地理ヲ授クルノ順序方法

如何

第四十二 土地ノ遠近山川ノ大小距離等ノ觀念

ヲ得セシムルノ方法ヲ詳説セヨ

第四十三 地理學教授ノ順序方法如何

第四十四 圖画ヲ教授スル時ノ順序方法ヲ詳細

ニ陳述セヨ

第四十五 工夫画トハ如何ナルモノソ例ヲ舉ケ

テ之ヲ詳説セヨ

第四十六 立体遠景寫法ヲ兒童ノ腦裡ニ確認セ

シムルニハ如何ナル教授法ヲ用ヤル

ヤ

第四十七 光影即蔭映ノ法ヲ兒童ニ確認セシム

ルニハ如何ナル手段ニ由ルヤ

第四十八 歴史ヲ教授スルノ方法ヲ詳述セヨ

第四十九 尊王愛國ノ心情ヲ振起セシムルノ材

料ハ歴史教授中ニ最多シト云フ其教

授方法ヲ詳細ニ記載セヨ

第五十 植物學ヲ教授スルノ方法ヲ詳細ニ記

述セヨ

第五十一 動物學ヲ教授スルノ順序方法ヲ詳細

ニ記述セヨ

第五十二 鑛物學ヲ教授スルノ順序方法ヲ詳細

ニ記述セヨ

第五十三 墜体ノ重力ハ經過ノ距離ノ愈長キニ
随ヒ愈其重力ヲ増益スルノ理ヲ教授
スルニハ如何ナル方法ヲ用ヰルヤ
第五十四 空氣ニ壓力アルヲ教授スルノ簡便ナ
ル方法ヲ詳述セヨ

第五十五 物体ノ大小ニ由テ引方ニ強弱アル所
以ノ理ヲ明亮ニ生徒ノ腦中ニ印セシ
ムルノ方法ヲ詳述セヨ

第五十六 化學教授ノ順序方法ヲ詳述セヨ
第五十七 生理ヲ授クルノ順序方法ヲ明示セヨ

第五十八 養生法ヲ教授スルハ生理ノ題目ト並
行スルヲ要ス其教授ノ方法ヲ明細ニ
述ヘヨ

第五十九 幾何學ノ定義ヲ教授スルノ順序方法
ヲ明亮ニ陳ヘヨ

第六十 幾何學ノ諸問題ヲ教授スルノ順序方
法如何

第六十一 農學ヲ教フルノ順序方法ヲ詳述セヨ
第六十二 商業ヲ教授スルノ順序方法ヲ詳細ニ

陳述セヨ

第六十三 工業ヲ教授スルノ順序方法ヲ詳細ニ

陳述セヨ

第六十四 記簿法ヲ教授スルノ順序方法ヲ詳細

ニ陳述セヨ

第六十五 經濟學ヲ教授スルノ順序方法ヲ詳細

ニ陳述セヨ

第六十六 家事經濟ヲ教授スルノ順序方法ヲ詳

細ニ陳述セヨ

第六十七 生徒ノ讀書力ヲ試験スル簡易ナル方

法ヲ詳細ニ陳ヘヨ

第六十八 實形ヨリ虚形ニ至リ事實ヨリ理法ニ

進ムヘシト云フ其理由ヲ詳細ニ陳述

セヨ

第六十九 既知ヨリ未知ニ進ムハ教授ノ要旨ナ

リト云フ其理由ヲ証明セヨ

第七十 証券界紙使用法及印紙貼用法等ハ何

ノ時間ニ教授スルヤ并ニ其教授方法

ヲ詳述セヨ

第七十一 郵便規則中必須ノモノヲ教授スルハ

實ニ要用ノ事タルヘシ然ラハ之ヲ教

授スルニハ何如ナル時ニ於テスルヤ
并ニ其教授ノ方法ヲ詳述セヨ

第七十二 違式註違ノ諸則ハ如何ナル時ニ之ヲ
教授スルヤ并ニ其教授ノ方法ヲ詳細
ニ陳述セヨ

第七十三 貸借ニ関スル諸法則ヲ教授スルハ
生徒ニ真實ヲ以テ相交ルノ意ヲ薄弱
ナラシムルノ恐アリ此恐ナキ教授ノ
方法ヲ詳述セヨ

第七十四 高尚教授トハ如何ナル教授法ナルヤ

且其良否ヲ詳述セヨ

第七十五 獨斷教授トハ如何ナル教授法ナルヤ
且其良否ヲ詳述セヨ

第七十六 教授ノ奏功ノ如何ハ教師ノ目的ノ其
心意ニ明晰ニ彰ルト否ラサルトニ関
スト云フ其理由ヲ詳述セヨ

第七十七 學科ヲ教授スルニ於テ準備ノ必要ヲ
説ケ

第七十八 教授中設問ノ緊要ナル所以ヲ詳述セ
ヨ

第七十九 解明ハ開發ノ一方法ナリト云フ其理由ヲ詳述セヨ

第八十 一旦學ヒ得タル所ハ口ニ説クノ能力ヲ得セシメサルヘカラスト云フ其理由ヲ詳言セヨ

第八十一 問ヒノ難易ハ生徒ノ學識ニ相應セサルヘカラスト云ク其所以ヲ詳ニ記述セヨ

第八十二 問題ノ意義ハ必判然タルヘシト云フ其理由ヲ陳ヘヨ

第八十三 問題ノ意義ハ必唯一ノ意義ヲ含ムルノタルヘシ決テ二三ノ意義ヲ含有スルモノタルヘカラスト云フ其理由如何

第八十四 問ヒノ順序ハ必道理ニ適合セサルヘカラスト云フ其理由如何

第八十五 問題ハ簡短ナルヘシト云フ其理由ヲ詳述セヨ

第八十六 問題ニハ毫モ答ヲ含有スヘカラスト云フ其理由如何

第八十七 問題ノ意義ハ必一定ノ聚合所ナカル
ヘカラスト云フ其理由如何

第八十八 問題ハ一二ノ單語ヲ以テ答ヘ得ヘキ
モノタルヘカラスト云フ其理由如何

第八十九 問ヒノ方法ハ確實直切ノモノタルサ
ルヘカラスト云フ其理由如何

第九十 答詞中ニハ問中ニ保有セサル事件ヲ
加フヘカラスト云フ其理由如何

第九十一 答詞中ニ含有セル一ヲ遺漏セシムヘ
カラスト云フ其理由如何

第九十二 答詞ハ必論理法ニ適合セシムヘシト
云フ其理由如何

第九十三 答ハ必問ノ性質ニ適合セシムヘシト
云フ其理由如何

第九十四 答詞ハ簡短ニシテ意義明亮ナルヘシ
ト云フ其理由如何

第九十五 答詞ハ本原ノ者タルモ又ハ先輩ノ語
ヲ用ヅルモ自由ナラシムヘシト云フ
其理由如何

第九十六 答ハ正クシテ明白ナルヘシト云フ其
理由如何

理由如何

第九十七 児童ノ知識ハ必物体實事ヨリ得セシムヘシト云フ其理由如何

第九十八 教師ハ心意ノ諸力ヲ知リテ且如何ニシテ此諸力ヲ正キ發作ニ導クヘキヤヲ知ラサルベカラスト云フ其所以ノ理ヲ詳説セヨ

第九十九 各學科ヲ教授スルニハ節目ニ依ルヲ宜シトスト云フ節目トハ如何

第一百 各科節目ニ依テ教授スルノ効益ヲ説ケ

第一百一 生徒ノ心意ニ觀念ノ固結セシヤ否ヲ試験スルノ方法如何

第一百二 口授ノ諸類中教授ニ最適當セルモノハ何ソ併セテ其理由ヲ説ケ

第一百三 植物ヲ教授スルニ方リ若標本ノ備ナキ片ハ如何ニシテ之ヲ教授スルヤ

第一百四 動物ヲ教授スルニ方リ若標本ノ備ナキ片ハ如何ニシテ之ヲ教授スルヤ

第一百五 鑛物ヲ教授スルニ方リ若標本ノ備ナ

キハ如何ニシテ之ヲ教授スルヤ

第百六 生徒ノ扣所休憩所ニ備フヘキ器具ヲ

列記セヨ

第百七 新ニ赴任シテ始メテ生徒ニ面スル片

生徒ニ約スヘキ諸条如何

教育
管理
法
問題集終

明治十七年四月十五日版權免許
今年五月三十日出版御届

定價金二拾錢

纂輯

東京府平民
城谷

謙

駿河國有渡郡静岡
西草深町百番地

出版人

静岡縣平民
廣瀬市

藏

全江川町十二番地
全縣士族

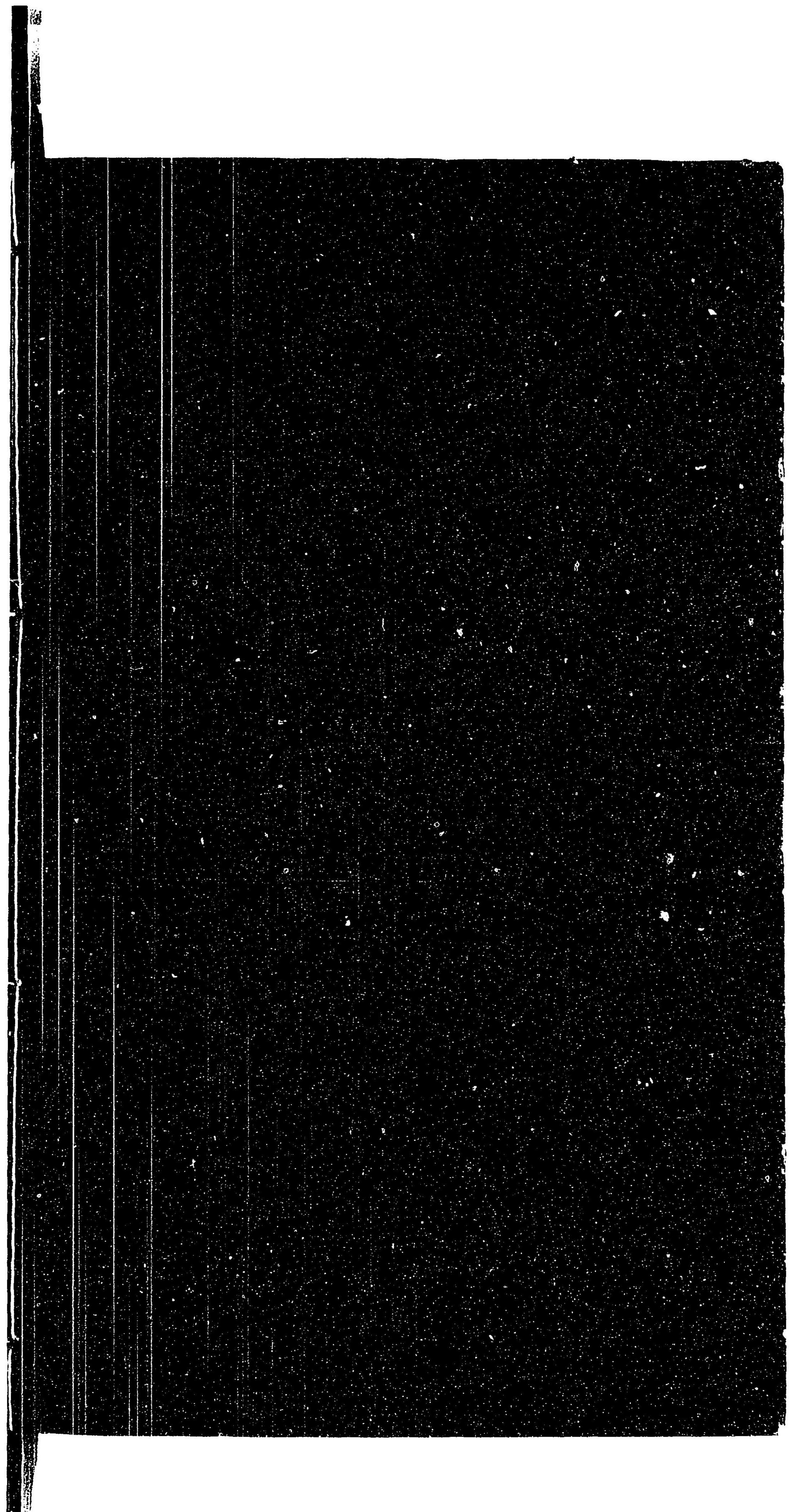
全

青木榮次郎

青木榮次郎

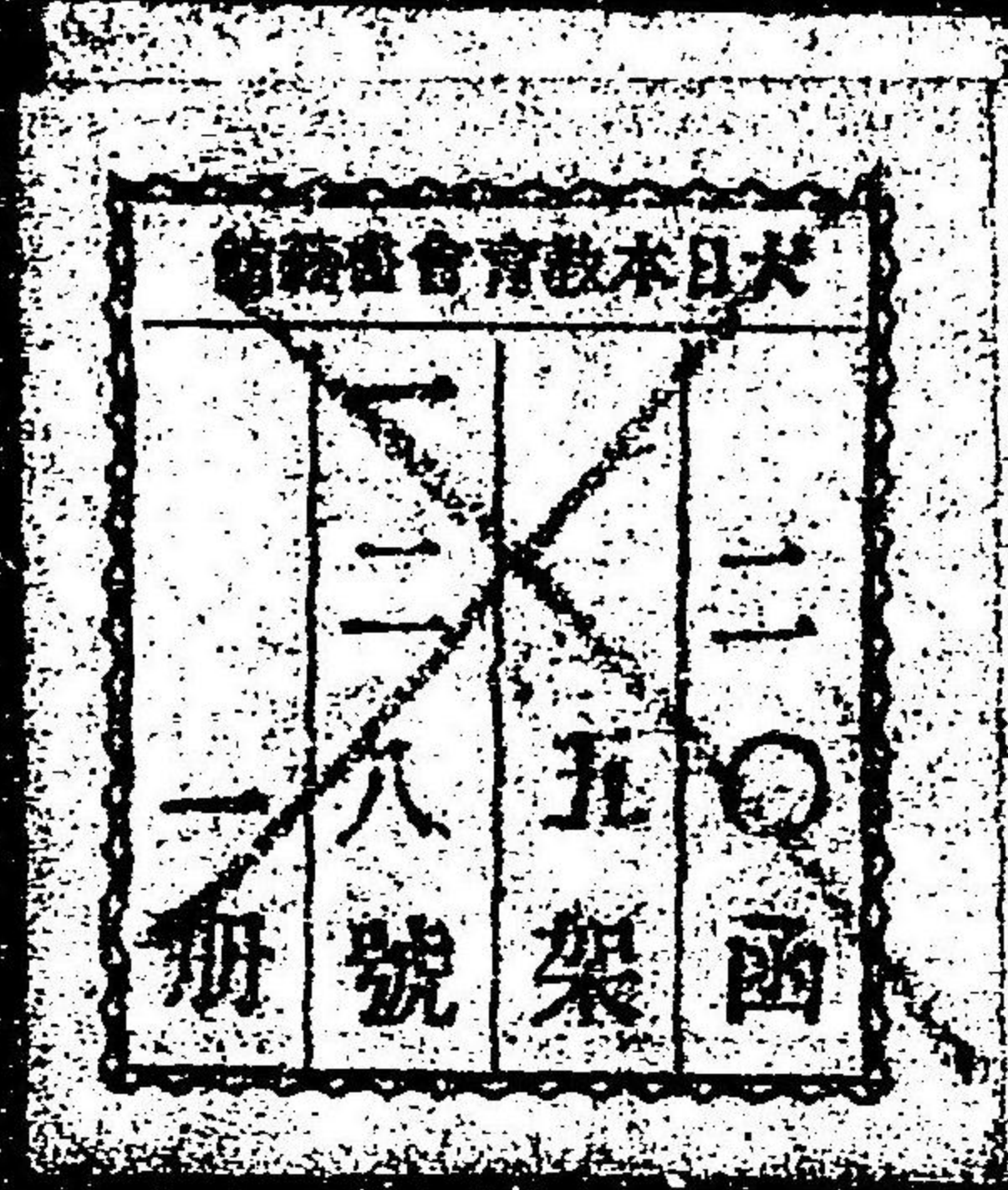
全安倍郡静岡吳服町
虎子目三番地





特35

14



問題集

城谷謙集

049840-000-1

特35-14

教育学管理法教授法問題集

城谷 謙/編

M17

BEM-0574

